

シリーズ(その4)

## 脱炭素×経済成長のまちづくり 「安来市再生可能エネルギー地産地消 ビジョン(仮称)」の策定に向けて

問い合わせ  
環境政策課  
☎23-3098

令和4年度、安来市は再生可能エネルギーの推進や、地域経済の好循環のために取り組んでいく指針となる「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン(仮称)」の策定に向け、策定委員会(以下、委員会)の皆さんと議論を重ねてきました。

第1回の委員会ではビジョ



▶2月22日に開催した委員会(第3回)の様子。

ンの方針や作り方について検討し、第2回は、地域企業と連携して電力会社を設立した福島県葛尾村などの事例を参考に、市が目指す姿について理解を深めました。またグループに分かれて意見交換を行い、幅広い年齢層の人にわかりやすいビジョンにすべきとの意見や、再生可能エネルギーのメリット・デメリット両方について知ることのできる安心感を得られるなど、さまざまな意見が出されました。

最終となる第3回の委員会では、これまでの議論を取りまとめた内容について確認を行いました。  
委員会の議事録と資料を市ホームページ(左記2次元コード)に掲載していますので、ぜひご覧ください。



安来市立歴史資料館は、1階に昨年リニューアルした月山富田城跡ガイダンスコーナーと観光案内所、2階に原始から江戸時代までの常設展示と企画展コーナーがあります。今号から、展示品を通して安来市の歴史の要点を連載していきます。

第1回は、令和5年度前期企画展「回覧文書に見る戦時下の人々の暮らし その2」についてです。その1では、昭和16年12月の回覧文書から、太平洋戦争にわき上がる世相と統制下で正月を迎える準備をする人々の様子を展示しました。

今回は、その2として昭和16・17年の回覧文書を紹介いたします。その中には、「政府の時間」という文書があり、毎日19時20分から10分間、国策についてのラジオ放送を聞くことが推奨されました。また、「毛織くず集め」という文書では、軍需用の羊毛を確保するために毛くずまで集める運動が行われたことが分かります。

このように、戦争に直結していた先人の生々しい暮らしの様子が回覧文書からうかがえます。

## 安来市の歴史

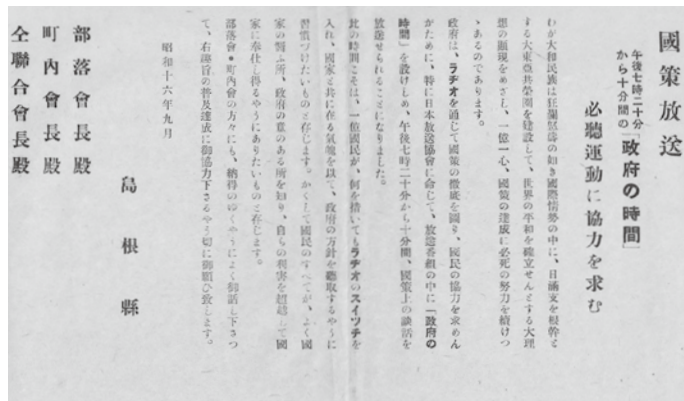
新連載 知っておきたい

～歴史資料館史料から～

### 前期企画展

### 「回覧文書に見る戦時下の人々の暮らし その2」

期間 3月29日(水)～9月25日(月)  
休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日休館)  
入館料 大人……………210円  
高校生・大学生……100円  
小・中学生……………30円



▲国策放送の聴取を促す回覧文書(昭和16年)。個人蔵。

### 問い合わせ

歴史資料館 ☎32-2767

